

オフィス縮退に関する一考察

検討・議論抜けを防ぐための状況整理を目的として



著者：菊地 俊介
さくらインターネット研究所



はじめに（本資料について）

オフィスの縮退について、抜けなく議論・検討できるように状況や論点を整理しておきたい。

また、（上記整理を通じて）今般のコロナ禍を発端とするオフィスの在り方、働き方についての自分の意見を整理しておきたい。

本資料の構成

- 背景の整理
- 今般の状況の確認
- 現状の分析
- 打つべき施策（案）
- 要議論、確認事項、まとめ

背景の整理

- ・ オフィスとは何か
- ・ オフィスに必要な機能とは



オフィスとは何か、 なぜ必要なのか/だったのか

すべての(会社)組織には、「現場」と「オフィス(事務所)」がある。

- 現場：その組織が生業とする業務を遂行する場
 - (サービス業であれば顧客との接点でもある)
- オフィス：現場業務遂行のために、従業員をサポートするための場所・設備

さくらインターネットにおいては、

- 現場：石狩や東京・大阪のデータセンター、インターネット上のホームページ、クラウドコンパネ等、イベント会場
- オフィス：大阪、東京、福岡の事務所、石狩等のデータセンターに付属のオフィスエリア

となる。

オフィスに必要な機能

(1) 総務機能：書類処理（押印、保管）、郵便物送付授受、各種窓口

(2) 従業員の会議・議論の場：大小会議スペース

(3) 従業員向け福利厚生：食堂、休憩場所、リラクゼーション設備、トイレ等

(4) 来客対応：ミーティングルーム、受付

(5) 従業員が仕事をする場（環境）：

・ オフィスが都心部にあることで、帰宅時に周辺に寄り道すること等による気分転換など、の効果もあり。

デスク、PC、ネット、電話、電力、空調、プリンタ、文房具、書籍・参考資料、サーバールームや実験室

(6) 従業員間でのコミュニケーション促進の場：休憩室や廊下、居室通路など

さくらインターネットでは、これら純粋なオフィス機能に、以下の機能を併設する形態をとっていることが多い。

(7) イベント開催（顧客向けコミュニケーション機会創出）機能：

イベントスペース

(8) 対外的アピール

今般の状況の確認

- ・ 今、何が起きているのか、起こそうとしているのか
- ・ 密集忌避、感染予防によりオフィスに行けなくなることで発生している影響
- ・ オンライン化促進、物理場所制約の撤廃により変えたいと思っていること



今、何が起きているのか、 何を起こそうとしているのか

- ・ コロナ禍に起因する、密集忌避、感染予防
- ・ オンライン化促進、物理場所制約の撤廃

オンライン化促進はコロナ禍に起因していると考えられるが、本質的には、それ以前から提起されている独立した項目と考えられる/考えるべき。

密集忌避、感染予防によりオフィスに行けなくなることによって発生している影響

- (1') 総務機能の低下
- (2') 会議・議論の質・量の低下
- (3') 福利厚生機能の消失
- (4') 来客対応不全
- (5') 従業員の仕事環境の提供不全
- (6') 従業員間コミュニケーションの質・量の低下
- (7') イベント開催の質・量の低下

オンライン化促進、物理場所制約の撤廃により変えたいと思っていること

- (a) 働く場所の自由化
- (b) ((a)に付随する面もあるが) 通勤の廃止もしくは頻度低下、負荷軽減
- (c) 従業員間のコミュニケーションをコロナ禍発生以前よりも促進する
- (d) 顧客向けコミュニケーションをコロナ禍発生以前よりも促進する

今般の状況、まとめ

(1')~(7')を改善(低減)し、かつ(a)~(d)を増進することが、さくらインターネットが今般やりたいことである。

- (1') 総務機能の低下
- (2') 会議・議論の質・量低下
- (3') 福利厚生機能の消失
- (4') 来客対応不全
- (5') 従業員の仕事環境の提供不全
- (6') 従業員間コミュニケーションの質・量の低下
- (7') イベント開催の質・量の低下
- (8') (対外アピールはあまり影響を受けていない)

- (a) 働く場所の自由化
- (b) ((a)に付随する面もあるが) 通勤の廃止もしくは頻度低下、負荷軽減
- (c) 従業員間のコミュニケーションをコロナ禍発生以前よりも促進する
- (d) 顧客向けコミュニケーションをコロナ禍発生以前よりも促進する

(6')と(c)、(7')と(d)は、実質的には同じものを指しているため、以後のページでは統合して扱う。

現状の分析

受けている影響を評価して、具体化・可視化する



影響の評価

それぞれの立場で影響度の評価は異なるはず。
各自で評価し議論していく必要がある。

	内容	影響度	具体的に起きていること	代替手段の有無、内容
(1')	総務機能の低下	中	作業進行遅延、対応日縮小	各従業員への作業移行、オンラインツール・郵送利用
(2')	会議・議論の質・量の低下	小	長期的に新ネタ創出などに影響あるかも	オンラインツール利用
(3')	福利厚生機能の消失	中	心身疲労の蓄積	代替手段がないが、許容している
(4')	来客対応不全	小	来客自体が減少	オンラインツール利用
(5')	従業員の仕事環境提供不全	大	作業効率・意欲低下	自宅設備拡充により部分的には代替可能
(6')	従業員間コミュニケーションの質・量の低下	中	仲間意識等の喪失、スムーズな業務進行・機会創出の喪失	オンラインツールにより雑談やラジオを導入するも、代替不十分
(7')	イベントの質・量の低下	小	ハンズオン形式、仲間づくり等はやりづらい	オンラインツール利用
(8')	対外アピール	小	ほぼ影響なし	なし

影響の評価

さくらインターネット研究所でのヒアリング
をもとに追記 (2020/08/24)

	内容	影響度	具体的に起きていること	代替手段の有無、内容
(1')	総務機能の低下	中	作業進行遅延、対応日縮小	各従業員への作業移行、オンラインツール・郵送利用
(2')	会議・議論の質・量の低下	小	長期的に新	利用
(3')	福利厚生機能の消失	中	心身疲労の蓄積	代替手段がないが、許容している
(4')	来客対応不全	小	来客自体が減少	利用
(5')	従業員の仕事環境提供不全	大	作業効率・意欲低下	自宅設備拡充により部分的には代替可能
(6')	従業員間コミュニケーションの質・量の低下	中	仲間意識等の喪失、スムーズな業務進行・機会創出の喪失	オンラインツールにより雑談やラジオを導入するも、代替不十分
(7')	イベントの質・量の低下	小	ハンズオン形式の仲間づくり	利用
(8')	対外アピール	小	ほぼ影響なし	なし

・経費精算手続きが手間である。
・社外との契約手続きのために社内の別部門の人に処理を依頼するのが負担。

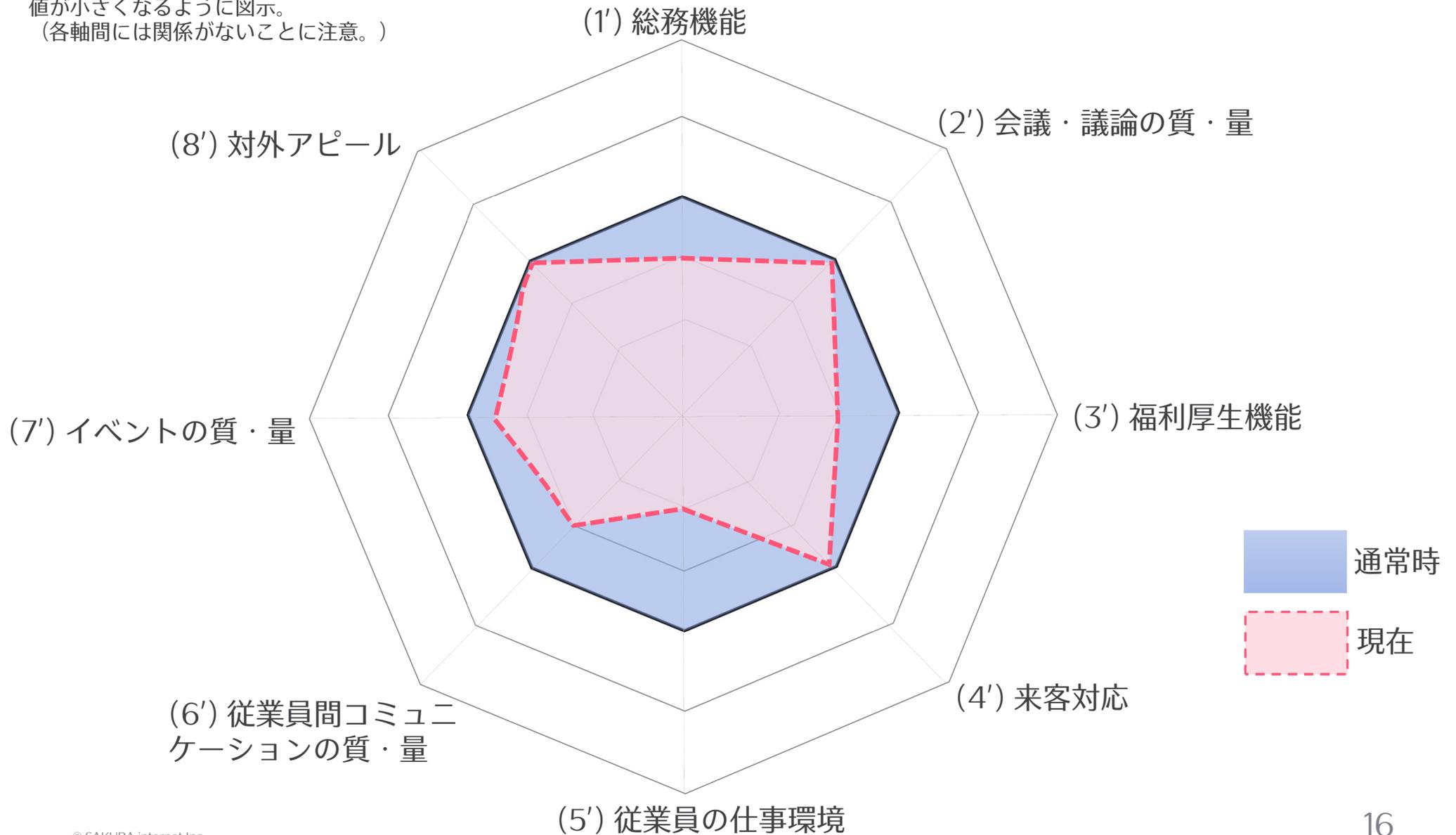
・総じて自宅での電気代は上がっている。
・家にプリンタがないため印刷をためらうようになっている。

・コミュニケーション相手が研究所のメンバーだけになり、他職種・他部門の人と話す機会がほぼなくなった。その結果、さくらの事業や組織への関心を失いつつある。
・福岡では月に2日ほどオフィスに集まる日を決めているが、メンバーが固定されているため他部門とのコミュニケーションはほぼなくなった。

影響の評価 (図)

それぞれの立場で影響度の評価は異なるはず。
各自で評価し議論していく必要がある。

影響が大きく、機能の毀損度合が大きいもの程
値が小さくなるように図示。
(各軸間には関係がないことに注意。)



打つべき施策（案）

受けている影響を挽回するための施策



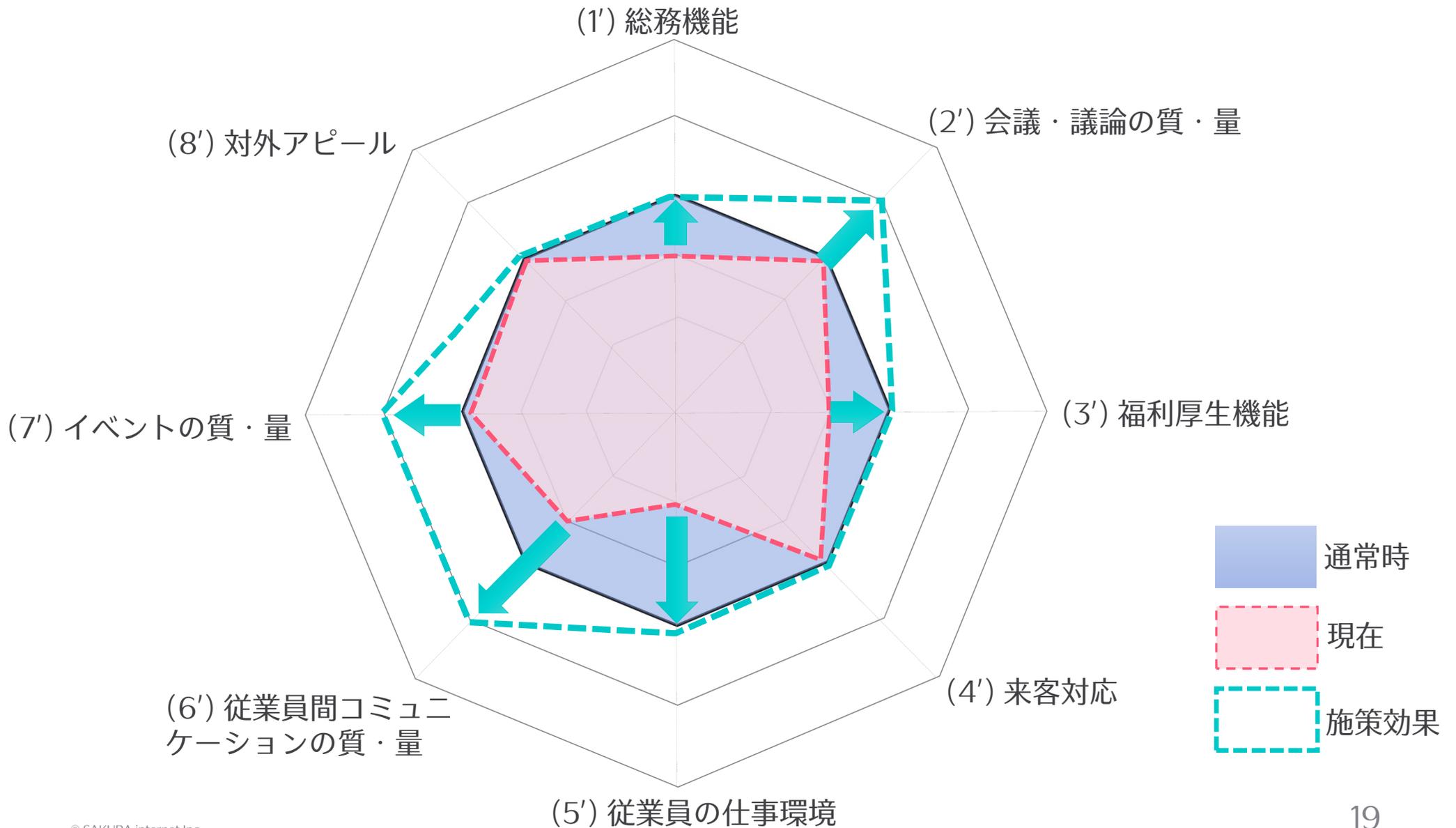
施策 (案)

施策案はあくまで案なので、職責に応じた各自がそれぞれ必要な施策を考えていく。

	内容	影響度	施策案
(1')	総務機能の低下	中	紙書類処理の簡素化、電子契約手段の導入・促進
(2')	会議・議論の質・量の低下	小	オンラインツール利用促進
(3')	福利厚生機能の消失	中	自宅等での休憩等の徹底、それら手段の充実化、補助、オフィスの既存設備の保持
(4')	来客対応不全	小	オンラインツール利用促進、オフィスの既存設備の保持
(5')	従業員の仕事環境提供不全	大	什器貸し出し、環境拡充のための補助、サテライトオフィス導入、オンラインでの資料・図書の共有、オフィスの既存設備の保持 (求める人に対しては)
(6')	従業員間コミュニケーションの質・量の低下	中	オフィス集約?、集合イベント開催?、オンライン・オフライン接続、書籍・雑誌・おもちゃなど人が集まる手段・場の用意? (打てる手が少ない)
(7')	イベントの質・量の低下	小	オンラインイベント実施スキームの改善?
(8')	対外アピール	小	特になし?
(a)	働く場所の自由化	-	要出社作業の撤廃、従事する業務選択の促進
(b)	通勤負荷の削減	-	サテライトオフィス導入?

施策によりこのように改善を期待したい

(提案施策でこのように改善できる、ということではない)



オフィス縮退時に意識すべき点

- 既存のオフィス機能（P.7）のうち、**不要となったものは縮小させる**
 - 来客対応機能
 - 従業員の仕事環境提供（什器や文房具の用意など）
- 既存のオフィス機能のうち、**損なわれた部分（P.14）は、挽回させる**
 - 福利厚生のための設備
 - 従業員の仕事環境提供（自宅やサテライトオフィス利用が厳しくオフィスにデスクが必要な人、図書や参考資料の用意、サーバスペースや実験室など）
 - コミュニケーション促進のための設備

既存のオフィス機能で、**変わっていないものはそのままにする**

まとめ



まとめ

- コロナ禍発生を契機に、働き方やオフィスの在り方は大きく変わろうとしている。
- オフィスには果たすべき機能がある。
 - 総務機能、会議の場、福利厚生、来客、仕事環境、コミュニケーション、対外アピール
- コロナ禍でオフィスの各機能は損なわれている。
- 果たすべきオフィス機能の毀損度合（影響）を評価し、その挽回のための施策を打つべき。

- 影響の受け方は人・業種により様々で、利害が対立する側面がある。
- また、施策には費用対効果があるので、議論してから決定していくべき。

新しい
生活様式

新しい
ワーク
スタイル

